



# 2013年度 防災とボランティアのつどい

---

防災ボランティア活動の次のステージに向けて

東京災害ボランティアネットワーク  
事務局 福田信章  
2014年01月25日

1



## 被災地でのボランティア活動はー

---

＜復興期においてー＞

- 取り残されてしまう方々を支える活動
- トップランナーを支える活動
  - 復興に取り残されてしまいがちな社会的弱者を支える活動はとても重要  
例：高齢者支援、障害者支援、子ども 等
  - 一方で、復興を進めていくトップランナーになりえる方々を支える活動も重要  
例：生業支援、観光支援 等

2



## 災害前のボランティア活動はー

---

- 災害が起こった後ではなく、災害が起こる前の（防災・減災）活動。
- 結果的には、災害が起こる前のこれらの防災・減災活動が、災害時に役立ちます。

3



## みなさんの地域のみんなとつながる活動

---

- 地域の現状(災害時の地域も)を地域のみんなで把握してください
- 地域で予想される災害時の課題を地域のみんなで共有してください
- 地域の防災力(地域力)を地域のみんなで見直してください
- そして災害によってなくなる命を地域のみんなを守ってください

4



## みんなとは!?

---

- みなさんの地域にいる様々なセクターの方です
  - 住民組織 : 自治会/町会、自主防災組織、老人会、子ども会、他
  - 学校関係者 : 学校長、教職員、PTA、教育委員会、他
  - 行政職員 : 防災課だけでなく、福祉課だけでなく、建築課、土木課、まちづくり課、他
  - 事業者組織 : 地元企業、商店会、商工会、JC、労働組合、生活協同組合、他
  - 宗教系組織 : 地元教会、地元寺院
  - NPO・NGO : 地域にある防災・災害に限らず、様々なテーマのNPO・NGO・ボランティア団体

5



## 災害は地域で起こる

---

- 地域で起こる災害に備えるなら、地域の人たちと一緒に備えることを優先して欲しい。社会福祉協議会やボランティアセンターだけでは、ほとんど何もできないのが現実。
  - ボランティアやNPOは(事業所も)、**テーマ(課題)**でのつながりは持っても、**エリア(地域)**でのつながりは持っていないことが多い
  - 地域組織は、**エリア(地域)**でのつながりは持っても、**テーマ(課題)**についてのつながりは持っていないことが多い

6



## テーマ(課題)とエリア(地域)をつなぐ

---

- **テーマ(課題)**で活動しているNPO・ボランティアと、**エリア(地域)**で活動している地域組織(住民組織)をつなぐことが防災活動の第一歩です
  - **エリア**で起こる災害では、必ず様々な**テーマ**の課題が山積します
  - **エリア**で活動する人(団体)と、**テーマ**で活動する人(団体)を **事前**につなげるからこそが防災活動になります

⇒だから、「みんな」で気づくこと、取り組むことが重要

7



## みんなが参加できる取り組みを!!!

---

- 住民の立場、行政の立場、企業の立場、社協の立場、NPO・ボランティアの立場...、様々な立場の様々な役割を持った人(組織)が地域にいます
  - これらの方が同じテーブルにつくこと
  - これらの方が同じ目的で取り組むこと
  - これらの方がお互いに協働し合うこと
- すでに取り組みを始めている地域もあります
- 先行している地域の取り組みを参考にしてみてもは！

8